学校番号	1007

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	器楽	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、管打楽器等の基礎的・応用的奏法を習得し、それらをいかして独奏や重奏等で音楽の表現力を高めることをめざす。
また、邦楽器（箏、三味線）の基礎的な奏法を身につけ、邦楽器での合奏を行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的・応用的な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持つことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的な技能を身につけている	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している	音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2・3	邦楽器	「箏」 ・箏の取り扱い ・読譜の基礎 ・基礎的奏法 ・箏独自の技法 ・楽曲の演奏 さくらさくら 春の日 道化者　等 「三味線」 ・三味線の取り扱い ・読譜の基礎 ・基礎的奏法 ・三味線独自の技法 ・楽曲の演奏	a:楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な邦楽器の基礎的な技能を身につけている b:音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している c:音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる	実技試験	実技試験 聴取	観察
1・2・3	管打楽器	「管打楽器等の応用的な奏法」 ・奏法の基礎 ・エチュードを用いて ・応用的な楽曲 ・アンサンブル	a:楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な管打楽器等の基礎的・応用的な技能を身につけている b:音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している c:音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる	実技試験	実技試験 聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度